

CARBONATOR PRO

User Guide

aarke

レベルアップされたご家庭での炭酸水作り。

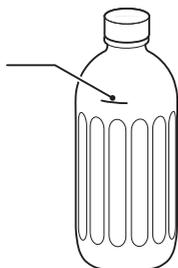
Aarke社では、毎日のルーチンをレベルアップする方法を常に探しています。新製品のCarbonator Proがあれば、当社の卓越した技術とディテールへのこだわりによって、独特でスムーズ、かつシンプルな炭酸水作りをお家でご体験になれます。市販の炭酸水を買うのに比べ、環境に優しい方法を選ばれたのは賢明な選択です。

カーボネーターは最高級の素材を用い、細部に至るまで設計・製造・試験されており、最高の品質と安全性を保ちます。ただし、炭酸と加圧システムを備える機器を使用する場合は、使用目的に沿って慎重に行ってください。ご使用前に、当ガイドの安全上のご注意をすべてお読みください。

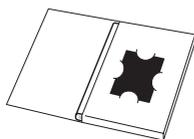
品目およびコンポーネント

付属品

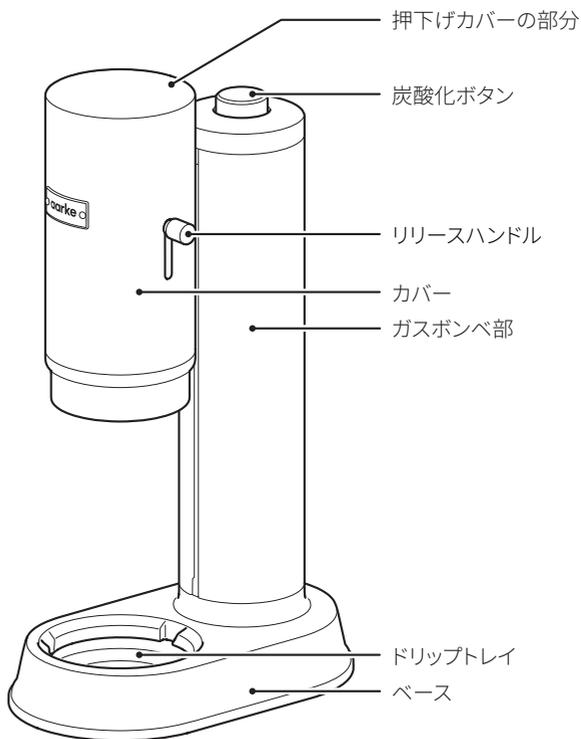
充填ライン



ガラスボトル



ウェルカムフォルダー
クリーニングクロス付き



Carbonator Pro

技術仕様

ガラスボトル

高さ	230 mm
直径	90 mm
重量	690 g
容量	800 ml (充填ラインまで700)

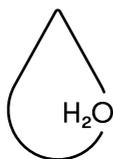
Carbonator Pro

高さ	510 mm
幅	170 mm
奥行き	290 mm
重量	3740 g



ボトルは 食器洗い機対応

一般の安全事項



炭酸化できるのは水のみです。他の飲料を使用しないでください



1-40°C
34-104°F

カーボネーターは、1°C～40°Cの温度で保管してください



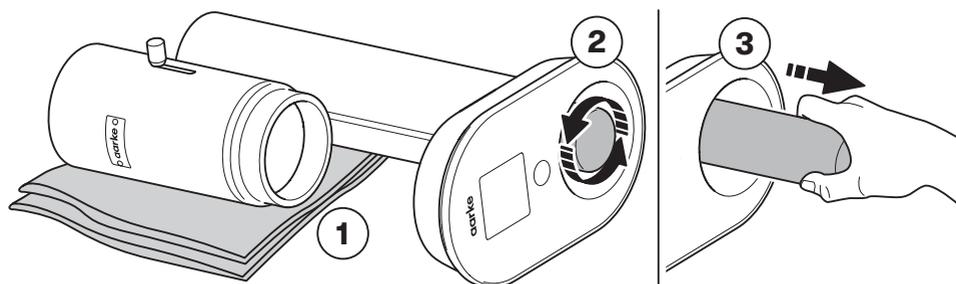
炭酸化にはCarbonator Proガラスボトルのみご使用ください



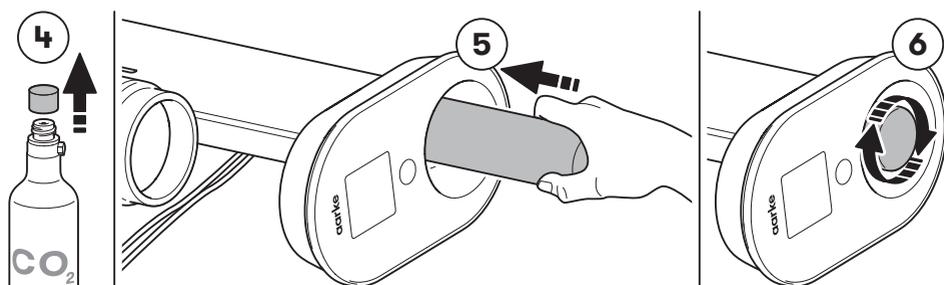
絶対に損傷のあるボトルで炭酸化をしないでください

- ・ カーボネーターは必ず直立させてご使用ください。
- ・ カーボネーターはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・ 絶対にボトルが空の状態での炭酸化を始めてください。
- ・ 絶対にガラスボトルを冷凍庫に入れないでください。
- ・ 炭酸化にはCarbonator Proガラスボトルのみをご使用ください。他のボトルを使うとマシンに損傷を与え、安全面でのリスクにつながります。
- ・ カーボネーターの移動時には、ガスシリンダーを取り外してください。
- ・ 「その他のアドバイス」については「公認ガスシリンダー」は 170 ページ セクションをご覧ください。

ガスシリンダーの交換

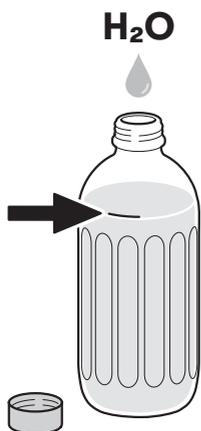


1. カーボネーターを横に倒す際は、保護するために柔らかな布に置いてください。カーボネーターにガスシリンダーが装着されていない場合はステップ4に進みます。
2. ガスシリンダーを反時計回りに回して緩めます。

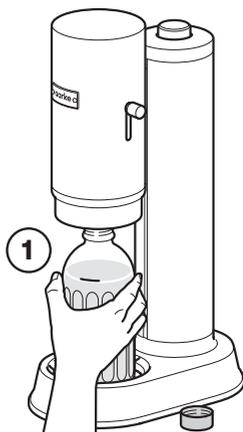


3. ガスシリンダーを取り外します。
4. 新しいガスシリンダーのプラスチックカバーとストッパーを取り外します。
5. ガスシリンダーをカーボネーターの底部に挿入します。
6. 奥まで届いたら、ボンベがしっかりと締まるまで、時計回りに回します。

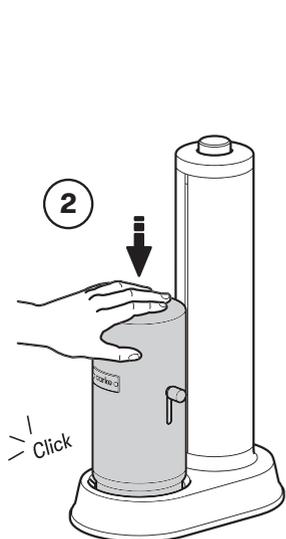
炭酸化プロセス



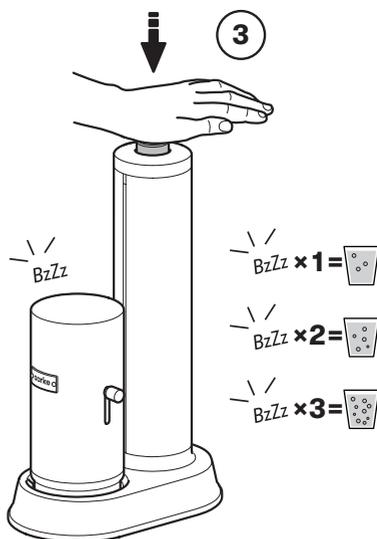
充填ラインまで水を満たします。



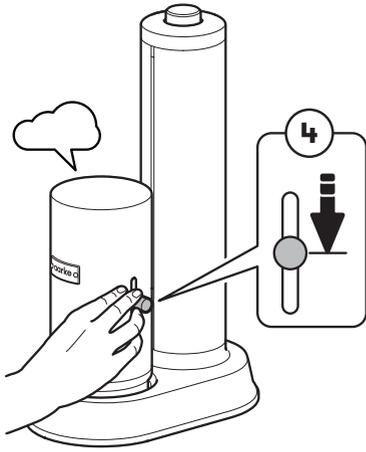
1. ボトルを底部に収めます。



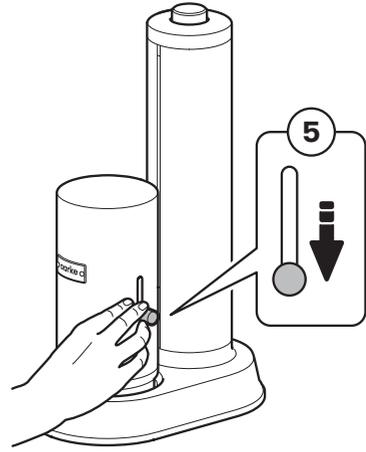
2. カチッと音がするまでカバーを押下げます。



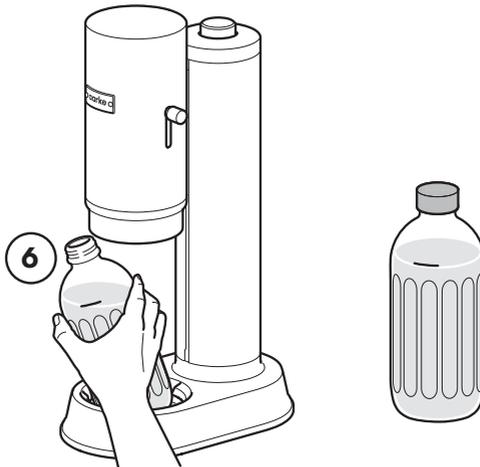
3. 炭酸化ボタンを泡立つ音がするまで押し炭酸水を作ります。



4.ハンドルを半押しにして、残圧を逃がします。



5.ハンドルを押し続けて、カバーを上げます。

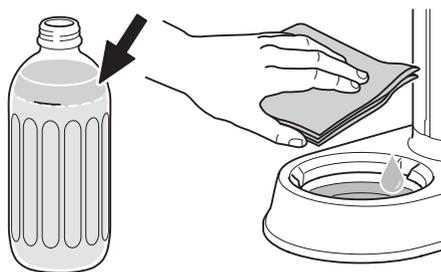


6.炭酸水をお楽しみください!

その他のアドバイス

ドリフトレイの水

ボトルからあふれた水はドリフトレイに溜まります。これは悪いことではありませんが、そうならないように、ボトルには充填ラインを超えて水を入れないでください。ドリフトレイを空にするには、清潔なキッチンクロスで拭いてください。



ボトルの洗浄

ボトルは食器洗い機での洗浄に耐えますが、外観を長持させるには手洗いを推奨します。初回のご使用前に、必ず中性洗剤を入れたぬるま湯でボトルを洗浄してください。

カーボネーターのクリーニング

カーボネーターの外観と機能を長持させるには、付属のクロスまたは清潔なマイクロファイバークロスでカーボネーターを拭いてください。

ツヤ消し仕上げのカーボネーターには、柔らかな布ときれいな水をお勧めします。ステンレススチールのカーボネーターには、水で湿したマイクロファイバークロス（必要時には中性洗剤）をお勧めします。いずれのカーボネーターに対しても、強力洗剤や研磨剤入りの家庭用洗浄剤は避けてください。細菌や匂いが発生しないように、ボトルは必ず清潔に保ち、キャップを外して保管してください。

冷水を使用

CO₂の効果的な使用には、冷蔵された冷水を炭酸化するようお勧めいたします

カウンタートップの保護

条件によっては、CO₂ キャニスターに水が凝結する場合があります。Carbonator Proの表面を保護するため、下方のカウンタートップを定期的に拭いてください。

リサイクル

カーボネーター本体および部品は高品質の材質で設計・製造されており、コンポーネントはリサイクル・再利用が可能です。分解後、各部品は地元の規定に従ってリサイクルしてください。

公認ガスシリンダー

カーボネーターには、すべての大手メーカーの炭酸水製造機器での使用に認められた、スタンダードタイプのガスシリンダーが使用できます。それ以外のガスシリンダーは使用できるように見えるかもしれませんが、本製品の損傷や安全面でのリスクがあります。必ず下記の寸法および重量のガスシリンダーをご使用ください。

CO₂ ガスシリンダー

Ø	60 mm
重量	425 g

トラブルシューティングガイド

問題	解決法
1.炭酸化ボタンを押しても、ガスがほとんど出ないか、まったく出ない。	<ul style="list-style-type: none">炭酸化ボタンを最後まで押してください(力を入れすぎないようにしてください)。ガスシリンダーを多少きつく締めてからお試してください(旧型のシリンダーの場合、余分な力が必要があります)。炭酸化ボタンを押す際に、ガスが漏れる音がしないか確かめてください。音がする場合は、問題#3をご参照ください。ガスシリンダーが空になっていないか、確かめてください。
2.炭酸化ボタンを押すとガスがボトルに注入されるが、水が炭酸水にならない。	<ul style="list-style-type: none">炭酸化ボタンを噴出音が聞こえるまで押してから、離してください。噴出音が聞こえるまで、離さないようにしてください。
3.炭酸化ボタンを押すとガスが漏れる音がし、ボトルへはほとんどガスが注入されない。	<ul style="list-style-type: none">ガスシリンダーをもう少しきつく締めてみてください。ガスボンベのガスケットが不良の可能性があります。「シリンダーガスケットのトラブルシューティング」は 172ページをご参照ください。
4.カバーが固くて押下げにくい。	<ul style="list-style-type: none">カバーの後方を押してみてください。
5.ガスシリンダーが使用中にマシン内で凍結する。	<ul style="list-style-type: none">シリンダーとマシンとの間でガス漏れしている可能性があります。ガスボンベをもう少しきつく締めてみてください。これで解決しない場合は、「シリンダーガスケットのトラブルシューティング」は 172ページをご参照ください。
6.新しいガスシリンダーで炭酸化した後にドリップトレイに水が溜まる。	<ul style="list-style-type: none">ドリップトレイの水は正常です。ただし、ボトルには充填ラインを超えて水を入れないようにしてください。余分の水はスポンジで拭ってください。
7.カバーを押しても底部に固定されない。	<ul style="list-style-type: none">カバーを強めに押してください。

上記の解決法が役に立たない場合は、support@aarke.comまでご連絡ください

シリンダーガスケットのトラブルシューティング

カーボネーターのシリンダー格納部内のゴムガスケットは、シリンダーと本体の間の重要な密封部品です。ガスケットがなかったり、破損していたり、取付箇所からずれている場合は、マシンは正しく動作しません。下記のような現象が見られます。

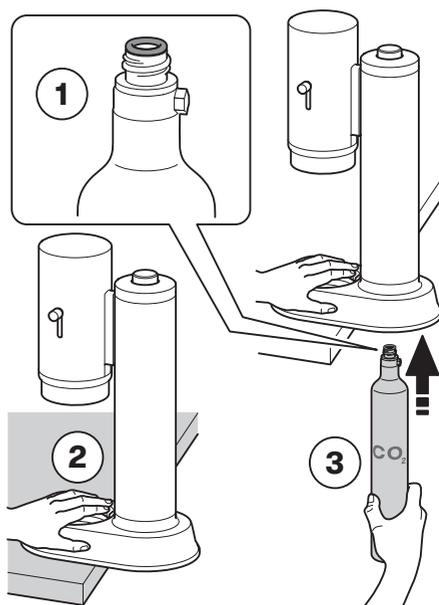
- 炭酸化ボタンを押すとシリンダー格納部からガスが漏れる音がします。
- シリンダー格納部の内部に水滴が付着したり、シリンダーが凍り付いたりします。
- ガスシリンダーのガスが急速に使い終わります。
- シリンダーをマシンへ取り付けした時、ボタンを押していない場合でもガスが漏れます。

ガスケットをチェックする

1. カーボネーターを横に倒して、シリンダーを取り外します。
2. シリンダー格納部内を検査します。真鍮ピンの周りに黒いリングがあることを確認します。ない場合は、「ガスケットの交換」は172ページの手順を続けます。
3. 黒いリングがあり、損傷や取り付けミスがある場合は、取り外してから「ガスケットの交換」は172ページの手順を続けます。

ガスケットの交換

マシンの底部に交換用のガスケットが付属しています。「Extra Gasket」と表示されたステッカーの下にあります。ステッカーを外して、交換用のガスケットを取り出します。



1. ガスシリンダーに新しいガスケットを取り付けます。
2. カーボネーターをテーブルの端に持って行きます。
3. シリンダーを挿入してねじ込みます。シリンダーを外しても、ガスケットは定位置に留まります。

カスタマーサポート

詳細情報およびよくある質問については、QRコードをスキャンしてご覧ください



Aarke AB

Östgötagatan 100
116 64 Stockholm, Sweden



aarke.com/support
www.aarke.com